

誰もが安心して暮らせるまちづくり  
社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会



# 社会福祉協議会だより

平成30年11月1日  
第145号



社会福祉協議会だより◆虹 145号 平成30年11月1日発行

## インタビュー 地域のヒト!

Vol.11

なかむら ひふみ  
中村 一二三さん  
(東校区福祉委員会 委員長)



校区福祉委員や地域の皆さんと話し合い、東校区の福祉課題を解決していきたいです。

### 「福祉」は奥深くおもしろい

東校区福祉委員会委員長を務めさせて頂き、8年が経過しました。自治会長になって2年目に、前任の委員長から福祉委員長を頼むと言われて「ハイ」と返事をしたものの、今から思えばこのような大役をよくも二つ返事でしたものだと反省致しております。「福祉」とは、奥が深いものでいつまでも勉強です。

### 地元のつどいの場で住民の笑顔をつくりたい

東校区は、約11,600人の人口で 65 歳以上の高齢化率は 28.3%と少子高齢化が進んでおり、ひとり暮らし高齢者など、買い物難民のいる地域にもなっています。

小地域ネットワーク活動として、いきいきサロン・ふれあい食事会「にこにこ東」や子育てサロン「ほがらか東」には地域の皆さま方が積極的に参加いただき、大変喜んでいただいています。これもボランティア部会の皆さまや民生児童委員のご協力のたまものです。

また、東校区では、12 の自治会単位でサロンや世代間交流会活動も積極的に実施していただいています。

校区福祉委員会の福祉課題として、ボランティア部員が不足しています。これからの地域福祉活動を積極的に推し進めて行くためにも増員が必要だと思っており、活動の担い手を募っています。これらの地域の福祉課題を校区福祉委員や地域の皆さんと一緒に話し合い、一つ一つ解決していくことが大切だと思っています。

### 今後の抱負

話し合いを重ね、少しずつでも着実に良いまちづくりを進めたい

### 編集後記 れんこん畑

毎年繰り返し返す猛暑日も、徐々に40℃に近づき、35℃以下だと今日は涼しいと感じるようになります。慣らされてきましたが、熱中症で倒れる人は年々増えています。

集中豪雨による洪水も毎年頻りに起こっています。下水管は10年に一度降る確率の50mm/時に対応していますが、毎年どこかで下水管のマンホールから吹き出ているのをテレビでよく観ます。

この現象は、今まで日本は温帯気候帯であったのが、亜熱帯気候帯の様相を帯びてきたようです。台風も日本に近付いても、海水温が高くエネルギーが供給されるため、以前に比べ大型化しております。

となると、災害も頻度と共に大規模になり、今後避難しなければならぬことが増えてきます。また、被害が大きくなるにしたがって、他に助けを求めることが困難になってきます。自助、近所(助)が大事です。

(K・T生)

◆発行者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会  
◆編集者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会広報編集委員会 寝屋川市池田西町28-22市立総合センター内  
◆電話 072-838-0400 ◆FAX 072-838-0166 ◆URL: <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>



### 今号の表紙

東コミュニティセンターを拠点に取り組まれている子育てサロン「ほがらか東」といきいきサロン「にこにこ東」取材しました。(東校区福祉委員会)

### 特集

頻発する災害  
社会福祉協議会の  
使命 (3ページ)

### 主な記事

- 歳末たすけあい運動がはじまります! ..... 2
  - 災害に備えた社会福祉協議会の取り組み ..... 3
  - 校区福祉委員会活動紹介～木屋校区・石津校区～ ..... 4
  - 福祉拠点「チョット寄ってん家」に寄ってみませんか? ..... 5
  - ねやがわ市民ふくし講座で学びあう ..... 6
  - お知らせコーナー(紹介、募集、案内) ..... 7
  - 地域のヒト! 中村 一二三(なかむら ひふみ)さん ..... 8
- (東校区福祉委員会 委員長)

寝屋川市社協

検索

**歳末たすけあい運動が  
はじまります！**

今年も12月1日から15日にかけて、歳末たすけあい運動を実施します。

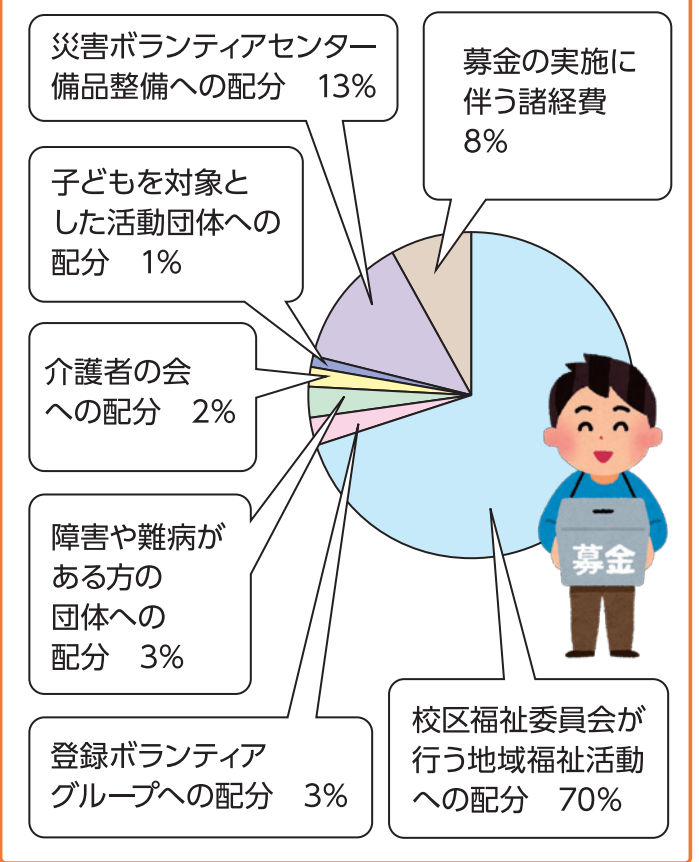
この運動は、自治会や民生委員・児童委員などで構成される校区福祉委員会、その他関係機関や団体の協力のもと、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンにして、市内全域で次の方法によって取り組みます。

- ①自治会の協力を得て、戸別募金への協力をよびかけます。また事業所からの募金もよびかけます。
- ②各コミュニティセンターやシテイ・ステーションに募金箱を設置します。
- ③12月3日に次表のとおり街頭募金を行います。

**平成30年度 街頭募金日程表**

時間	場所
8時30分～9時30分	京阪寝屋川市駅
	京阪香里園駅
	京阪萱島駅
10時～11時	京阪寝屋川市駅
	京阪香里園駅
	京阪萱島駅
16時～17時	イオンモール四條畷
	アル・プラザ香里園
	コーナン寝屋川昭栄店
	イズミヤ東寝屋川店
	ビバモール寝屋川

**平成30年度 歳末たすけあい運動募金 使途**



みなさまからご協力いただいた募金は、右表の通り配分し、次のような目的で活用されます。

- ・校区福祉委員会では、孤立死や引きこもりを防ぐために地域住民の見守り活動や交流会、配食活動などを行っています。そのような活動を推進するため配分します。
- ・障害をもつ当事者・家族の団体を取り組む、地域の方々との交流やつながりを深めるための活動がさらに充実していけるよう配分します。
- ・ボランティア活動をしている高齢・障害・子どもなど幅広い分野のボランティアグループの活動がさらに発展するよう配分します。
- ・他に、子どもを対象にした活動の団体や高齢者を介護する家族の会への助成、また、万が一の災害に備えるため、災害ボランティアセンターを開設する際に必要な備品整備のために活用します。

これからの趣旨をご理解いただきみなさまのあたたかいご協力をよろしく願います。

**歳末たすけあい**

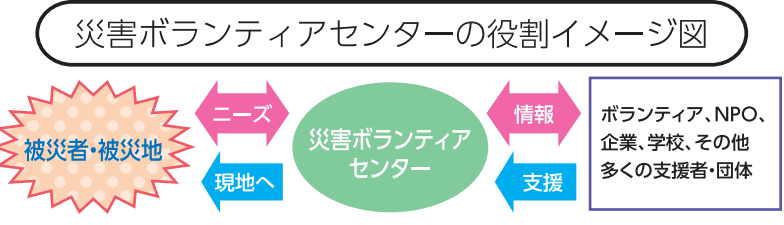
地域福祉課  
83810400



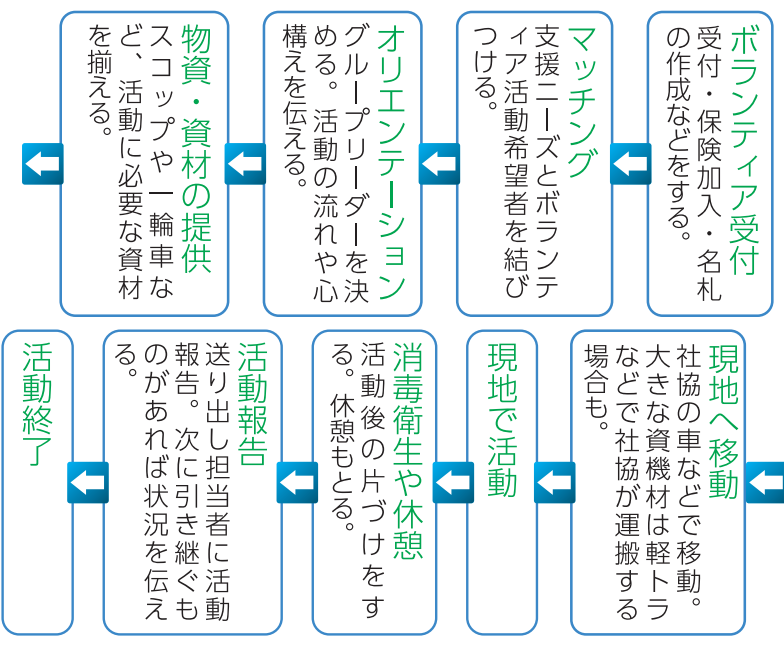
**特集**  
災害に備えた  
社会福祉協議会の  
取り組み  
復興支援に欠かせない存在  
災害ボランティアセンター

1995年阪神・淡路大震災以来、社会福祉協議会や地域のさまざまな団体は、研修や訓練を積み重ねてきました。その結果、今では被災した市町村の社会福祉協議会が、行政や様々な団体と連携を取りながら災害ボランティアセンターを設置

阪神・淡路大震災の時に、震災被害から救出された方が、誰に救助されたかを示すデータがあります。自力で、あるいは家族の助けにより脱出した方（自助）が約66%、友人や隣人に助けられた方（共助）が約28%、救急隊に助けられた方（公



**ボランティア活動者の1日のながれ (例)**



延べ205人が参加し、災害対策を考えました

その時、寝屋川市社協は...  
6月18日に発生した大阪北部地震においては、寝屋川市内でも震度5強を観測したものの、住民への聞き取りや市災害対策本部との調整の中では災害ボランティアセンターの立

**「終の住処」として、安心できるホーム**  
元気な方から要介護「5」の方までご入居いただけます。

**入居者募集!**

自信のある医療・看護・介護のサービスを提供いたします。

**良心的価格**

- 60歳以上の方
- 要支援・要介護・認知症の方
- 施設入所待ちの方

〒595-0293 寝屋川市立第3中学校南側  
072-826-6777  
お電話いただければお迎えにあがります



活動には諸条件があります



顔の見える関係づくりを目指して  
木屋校区福祉委員会

木屋校区福祉委員会(近藤幸男委員長)では、人や地域との繋がりを大切に、さまざまな活動を実践しています。

高齢者サロン活動は校区内の5地区で年に4〜5回、お花見、ゲーム大会、ひな祭り、ふれあい喫茶など、趣向を凝らした季節感のある取り組みが魅力です。福祉委員と参加者がお互いに顔の見える関係性を築き、ひとりひとりの想いに寄り添った丁寧な見守り活動をすすめています。

**つながりの強さが木屋の財産**

毎年秋には一大イベントである「木屋校区ふれあいまつり」を行っています。校区PTAと合同で取り組み、子どもから高齢者まで、例年1800人ほどの地域住民が木屋小学校に集まります。今年で13回目を迎える、木屋校区らしさが溢れる取り組みです。

会場はマドレーヌやみたらし団子などの美味しいお菓子、世界に1つだけの手作りのハンカチやかばん、木製おもちゃの販売など、さまざまな模擬店で賑わいます。地域住民のご厚意によるバルーンアートのプレゼントは、子どもたちに大人気です。



温かみのある木製おもちゃはプレゼントにおすすめです！

メインイベントの盆踊りでは、幅広い世代の方が参加して一緒に輪になって踊り、楽しい時間を共有しています。近藤委員長は「同じ地域に住んでいる人が集う場があることで顔の見える関係が築けている。木屋校区の財産である人や地域とのつながりを、今後も大切にして活動していきたい」と話されています。



子どもから大人まで、みんな楽しく盆踊りに参加しています。

**みんなで一緒に、を合言葉に  
石津校区福祉委員会**

石津校区福祉委員会(井上英一委員長)は、田井・石津校区福祉委員会から単独の委員会として独立して5年目を迎えます。4地区で構成され、みんなで一緒に、を合言葉に、新人もベテランも全ての福祉委員が力を合わせて活動しています。各地区でのサロン活動やひとり暮らし高齢者の見守り活動などに力を入れて取り組んでいます。

**地域に愛される敬老の集い**

中でも、年1回実施している「いしづ敬老の集い」は石津小学校で開催され、参加者・スタッフを合わせて300人以上が集まります。

石津保育園や石津小学校の子どもたちによるダンス、友呂岐中学校吹奏楽部による演奏、地域のボランティアによるフラダンスやマジックなど、楽しいイベントが盛りだくさんで、会場は笑顔で溢れています。



フラダンスの披露が始まると、会場は華やかな雰囲気になります。

フィナーレにはピアノの音色に合わせ、懐かしいメロディーをみんなで大合唱。世代を越えたつながりを感じる、交流の場になっています。参加者には毎年参加されている方も多く、子どもたちによる催しを自身の孫の成長のように見守っています。参加者からは「普段は家にいることが多いので、参加することを毎年楽しみにしている。来年も元気に参加したい」といった声があります。



子どもたちの一生懸命な姿が印象的です。

井上委員長は「参加者から感謝の声を聞いたとき、笑顔で帰っている姿を見たときに大きなやりがいを感じる。30年度『いしづ敬老の集い』は台風の影響で残念ながら中止になってしまったが、楽しみにしている方のために、来年も力を入れて取り組みたい。今後も誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを目指して活動していく」と話されています。

☎ 地域福祉課  
83810400

**寝屋川市駅近くにある  
福祉拠点  
"チョット寄ってん家"  
に、寄ってみませんか？**

「チョット寄ってん家」は、寝屋川市内47の社会福祉法人で構成された地域貢献委員会が取り組んでいます。お気軽にお越しください。

● **場所** 桜撫庵 長屋門スペース (桜木町1-7)

● **時間** 12時から17時

※相談は14時から17時まで

● **内容**

障害者作業所の手作り品販売  
保育園児たちの作品展示  
子育てや介護保険など福祉に関する  
ことの相談

● **主催**

寝屋川市社会福祉協議会地域貢献委員会



いつでも気軽にお立ち寄りください♪

**開催予定日 (平成30年11月~平成31年3月)**

月	開催日				
11月	1日(木)	2日(金)	5日(月)		
12月	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	
1月	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
2月	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)
3月	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)



**緊急時安否確認  
(かぎ預かり)事業**

**緊急時安否確認に関する  
状況把握(調査)**

本会では、地域で起こった孤立死や安否を確認できた場合も含め、校区福祉委員会の協力のもと緊急時安否確認に関する状況把握の調査を実施しています。平成29年度の実績によれば、全体で52件の報告があり、そのうち死亡されたケースが38件、生存で発見されたケースが14件でした。生存で発見されたケースのうち、5件はかぎ預かり事業を利用していたことで生存が確認されたケースでした。

**命を救う、かぎ預かり事業  
大切なのは「連携」**

ある校区で生存につながった事例では、本人宅に新聞が数日分たまっていたことを不審に感じた地域住民が民生委員に相談。その後、警察に連絡するとともに、協力施設で預かっている鍵で入室しました。室内で衰弱した利用者を発見しそのまま救急搬送され、適切な治療につながりました。以前から、自治会役員なども心配し気にかけていた方だったよう

で、緊急時の連絡調整も迅速にいったようです。

またある校区では、近隣住民が利用者宅から壁をたたく音を聞き、警察に相談しました。自治会長が施設まで鍵を取りにいき、開錠するとトイレに閉じ込められている利用者を発見しました。何かの拍子でトイレの鍵がかかってしまい、出られなくなっていたようです。民生委員や自治会長の動きが、安否確認の大きな力になっています。

**緊急時の不安を解消するために  
鍵を預けませんか？**

校区福祉委員会が主体となって実施しているひとり暮らし高齢者調査では、本年4月1日時点で市内に8215人のひとり暮らし高齢者がいます。また、本事業の利用者は、9月30日時点で700人でした。年々、利用者は増加しています。

本事業の対象は、市内でひとり暮らしをされている65歳以上の方です。利用を検討されている方は、お近くの福祉委員か本会までお問い合わせください。

☎ 地域福祉課  
83810400



お知らせコーナー

**Q** この活動の魅力は？  
**A** 『子どもたちの笑顔』です。子どもたちが「へえ」と驚いたり、感動が感じられると嬉しく思います。本当に子どもたちは可愛いです。彼らの笑顔を守るためにもこの活動を続けていきます。

**Q** 会員数は何人ですか？  
**A** 現在は26人で活動しています。次世代の人たちが次の語り部として継承してもらえたらと、仲間を集めています。

**Q** わくわく未来塾とは？  
**A** 主に子どもたちを対象とし昔ながらの遊びの楽しさを伝えたり、戦争体験者が当時の生活状況や苦難を語り聞かせ、平和の大切さを伝える活動、または4ヶ月健診での子育て支援を行っています。

わくわく未来塾  
 (平成14年1月10日設立)  
 代表の藤本英祐さんにお伺いしました。

案内 ボランティア活動紹介

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

募集 平成30年度福祉広報研修会

**募集 市民活動講座参加者募集**

傾聴基礎講座「こころの通話の聴き方」「よい聴き手になるための、傾聴の大切なところを学んでみませんか」  
 講師：活動ネットワーク北河内 傾聴ボランティア「14の耳」  
 副代表 久保山 毅氏  
 とき：平成31年2月4日(月)13時30分～15時30分  
 ところ：市立保健福祉センター5階 多目的ホール  
 参加費：無料  
 定員：30人(申込多数の場合は抽選します)  
 主催：活動ネットワーク北河内 傾聴ボランティア「14の耳」 後援：寝屋川市社会福祉協議会

申込：往復はがき(住所・氏名・年齢・電話番号を記入)  
 申込先：〒572-8533寝屋川市池田西町28-22 寝屋川市社会福祉協議会内傾聴ボランティア「14の耳」※平成31年1月15日(火)必着  
 問合せ先：090-3707-5541「14の耳」代表 堀

介護予防サポーター登録研修日程表

日程	11月12日(月) 平成31年1月21日(月)
時間	10時～12時
場所	市立保健福祉センター5階研修室5

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

募集 平成30年度元氣アップ 介護予防ポイント事業 介護予防サポーター募集

日程	受付時間	実施予定場所
11月2日(金)	10時～16時30分 (休憩:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前
11月15日(木)	10時～16時30分 (休憩:12時～13時)	市立第五中学校
11月16日(金)	10時～16時30分 (休憩:13時～14時)	市立総合センター
1月7日(月)	10時～16時30分 (休憩:12時～13時)	寝屋川市役所
1月17日(木)	10時～16時30分 (休憩:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

案内 400ml献血にご協力ください

◆善意銀行・一般寄附・社会福祉基金◆ (平成30年7月1日～9月30日) 敬称略 善意の流通センター

**【現金の部】**

預託者氏名	なかにし きょうぞう 中西 恭三 (成田西町)
匿名 1件	

※一般寄附への寄附金合計金額は、7,000円でした。  
 ※善意銀行への寄附金はありませんでした。  
 いただいた食品は、生活困窮者支援に活用しています。

**【物品の部】**

預託者氏名	品名
有限会社にし尾	精米
つねいし みわ 恒石 美和	ポータブルトイレ
匿名	缶詰 (かつお)
地域貢献委員会(指定) すばる・北斗福祉作業所、和の里、 いちよう園、隆光学園、寝屋川苑	精米、白がゆ、白米ごはん、 中華丼、缶詰(やきとり)、 スポーツドリンク、飲料水

あたたかいご寄附、ありがとうございました！♥

<お願い>お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

善意銀行 物品預託在庫状況 H30.9月30日現在

物品名	数量	物品名	数量	物品名	数量	物品名	数量	物品名	数量	物品名	数量
紙オムツ(パット式)	24点	紙オムツ(パンツ式)	31点	紙オムツ(テープ式)	27点	石油ストーブ	1点	車イス(自走)	1点	リクライニング式車イス	1点
車イス(介助)	4点	手押し車	1点	松葉杖	1点	杖	3点	4点杖	1点	男性用肌着	7点
浴槽台	1点	シャワーチェア	4点	風呂手すり	1点	電気保温台	1点	タオル	8点	靴下・タイツ	15点
ハンカチ	1点	家具調ポータブルトイレ	2点	自転車	1台						

平成30年度ねやがわ市民ふくし講座


「あなたに生きがいがありますか?～農業×福祉×酒づくり! 豊中あぐりから学ぶ、地域共生の居場所づくり～」

**日本の男性は世界一孤独?**  
 ご存知でしょうか。世界の先進国が加盟する国際機関OECD(経済協力開発機構)の2005年の調査によれば、「ほとんど、またはまったく友人や同僚もしくはほかの人々と時間を過ごさない人」の割合は、日本の男性では約17%(女性は14%)で、21カ国平均の3倍近くの数値となっています。  
 つまり、5～6人に1人の日本人男性が孤独を抱え、地域社会との接点がなく、社会的孤立に陥っている。言い換えると、仕事や家庭以外の「第3の居場所」を持つ方が少ないとも言えます。

**日時** 11月22日(木)  
 13時30分～15時30分

**会場** 市立保健福祉センター  
 5階多目的ホール

**講師** 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長  
**勝部 麗子氏**



このように、定年退職後に仕事や役割から解放され、どう過ごして良いのか悩む人が少なくありません。しかし、地域の中につながりや自らの居場所・役割を見出すことができれば、誰もが「生きがい」を持って生活することができます。と言われています。  
**他人事を我が事に**  
 そこで、豊中市社会福祉協議会がすすめる「豊中あぐり」の取り組みを通して、居場所・役割・地域の担い手を作り出していくことの大切さと、誰もが「生きがい」を持って共生していける地域づくりについて考えます。

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400

**Q** 地域福祉課  
 ☎ 838-0400